

はじめに

私たちの市原市は、これまで半世紀を越える歴史の中で、さまざまな課題を乗り越え、28万市民を有する都市へ発展してきました。今、時代は全国的に人口減少社会に転じ、本市においても人口減少と少子高齢化の進行が全国平均を上回るなど、市の将来に大きく影響する課題に直面しています。

このような中、本市の産業は、国際競争の激化や産業構造の変化等から厳しい状況におかれ、核となる臨海部のコンビナートにおいても企業の再編などが行われております。

本市では、平成26年5月に「市原市産業振興ビジョン」を策定し、「市民と企業が誇りを持って暮らし、まちの元気を創り出す」という基本理念のもとに、「臨海部工業地帯と共に歩み続けるまち」「まちの暮らしを彩る地域産業が育つまち」「農業・商業・工業・観光が連携して新しい産業（ビジネス）が生まれるまち」の3つの目標像の実現のため全力で取り組んでおります。

本書では、市原市の「農業」「林業」「工業」「商業」「観光」「労働」「中小企業」の各産業分野における、各種施策や事業等の実施状況を、市民や事業所の皆様にお知らせするとともに、お役に立てていただけるよう、関連するデータなどを取りまとめました。

本書が、市原市が持つ地域資源の活用と、全市が一丸となった協働のまちづくりに寄与し、市民と企業が夢と誇りのもてる安心して暮らせるまちを実現するための一助となれば幸いです。

平成27年9月

市原市長 小出 譲治

# 目 次

市原市の概要	1
市原市産業振興ビジョン	7

## 第1章 農 業

市原市の農業	9
Ⅰ. 農林業経営における振興計画	12
1. 市原市農林業振興計画	12
2. 市原市農業振興地域整備計画	13
3. 経営所得安定対策	14
4. 人・農地プラン	15
Ⅱ. 経営基盤強化の促進	16
1. 農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想	16
2. 認定農業者制度	16
3. 農林業金融制度	17
4. 農地流動化推進事業	20
5. 耕作放棄地対策	21
6. 担い手の確保	23
Ⅲ. 特産品の振興	25
1. 米	25
2. 果樹	25
3. 野菜	27
4. 花き・植木	27
Ⅳ. 環境保全型農業の推進	30
1. 園芸用廃プラスチック処理対策推進事業	30
2. ちばエコ農業推進事業	30
Ⅴ. 農作物被害防止対策	32
1. 野生獣による農作物への被害状況	32
2. 野生獣捕獲	32
3. 野生獣の被害防止対策	33
Ⅵ. 畜産振興	34

1. 家畜防疫対策事業	34
2. 畜産農家の環境衛生	35
VII. 水産振興	36
VIII. 地産地消の推進	37
1. 地産地消活動	37
2. 農産物直売所	41
3. 食育の推進	43
IX. 農業センター	44
1. 農業センター	44
2. 都市農業センター（アズ植物園）	45
X. あずの里いちほら	47
1. 施設紹介	47
2. 主な販売品目	47
3. 利用者数等の推移	48
XI. 市民と農林業との交流	49
1. 市原市農林業まつり	49
2. 農業生産者と消費者のふれあい事業	50
3. 帰農塾	51
4. 市民農園	51
XII. 農業農村整備	52
1. 農業生産基盤整備	54
2. 農村整備	58
3. 農地などの保全	59
4. 維持管理事業	62
5. 多面的機能支払交付金事業	64
6. 中山間地域等直接支払交付金時事業	65
7. 農村公園	66

## 第2章 林業

市原市の林業	69
I. 林業の振興と森林の保全	71
II. 林道の整備及び維持管理	74
1. 林道の設置目的	74
2. 林道の維持管理	74
3. 林道の未登記整理	74

Ⅲ. 治山事業	76
Ⅳ. 林地開発行為	77

## 第3章 工業

市原市の工業	79
Ⅰ. 概況	80
1. 事業所数	81
2. 従業者数	83
3. 製造品出荷額等	85
4. 付加価値額	87
5. 現金給与総額	89
6. 投資額の状況	90
Ⅱ. 工業の振興	91
1. 企業立地の促進	91
2. 中小企業の基盤強化	93

## 第4章 商業

市原市の商業	95
Ⅰ. 事業所数、従業者数、年間商品販売額	97
Ⅱ. 地区別の状況	98
Ⅲ. 大規模小売店舗	99
Ⅳ. 商業の活性化	100
1. いちはら名産品リ×ミックスプロジェクト	101
2. 元気な商業者支援事業	101
3. 商店街の活性化とイベント等促進事業	101
4. 賑わい市	105
5. いちはら国府プレミアム商品券	105
Ⅴ. 地場産業	106
1. 伝統的工芸品	106
2. 地場産品の振興	107
Ⅵ. 消費者行政	108
1. 消費生活相談事業	107
2. 消費者保護事業	110

3. 消費者教育・啓発事業	111
4. 消費者団体育成事業	111
5. 計画適正化推進事業	111
6. 不用品再利用促進事業	111

## 第5章 観 光

市原市の観光	113
Ⅰ. 市原市観光振興ビジョン	113
1. ビジョン策定の趣	113
2. 基本理念	113
3. 観光振興ビジョンの戦略	113
4. 今後の取り組みについて	114
Ⅱ. 観光客の状況	114
1. 観光客入込数	114
2. 観光客入込数の推移	115
3. 月別及び季節別の観光客入込数	115
Ⅲ. 観光資源	116
1. 養老溪谷周辺	116
2. 高滝湖周辺	120
3. 鶴舞公園	124
4. 文化財・郷土芸能	125
5. ゴルフ場	125
6. 小湊鐵道	127
7. アミューズメント・レクリエーション施設	128
8. 産業観光	129
9. 観光行事・祭りなど	130
Ⅳ. 市の観光振興事業	135
1. 観光情報発信事業	135
2. フィルムコミッション事業	138
3. 養老溪谷もみじ植栽事業	138
4. 魅力ある観光地づくり事業	139
5. 観光振興事業への支援	140

6. 観光施設の運営・維持管理	141
V. 観光関係団体	144
1. 一般社団法人市原市観光協会	144
2. 高滝湖観光企業組合	153
3. 鶴舞さくらの会	153
4. 養老溪谷観光推進協議会	154
5. 市原市ゴルフ場連絡協議会	154
6. 千葉ベイエリア観光連盟	154
7. 公益社団法人千葉県観光物産協会	155
8. ちば観光プロモーション協議会	155
9. 中房総観光推進ネットワーク協議会	156
VI. アートを活用した取り組み	157
1. 中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス	157
2. アートいちはら	159

## 第6章 労働

市原市の労働環境	161
I. 雇用安定対策	162
1. 職業紹介施設の充実	162
2. 障がい者職業相談	163
3. 障がい者就職面接会	163
4. 再就職支援セミナー	164
5. 大学生等の保護者のための「就職支援セミナー」	164
6. 障がい者・高年齢者雇用、男女雇用機会均等法などの啓発	165
7. 緊急雇用創出事業及び起業支援型地域雇用創造事業	165
II. 職業能力向上支援	166
1. 職業訓練法人への支援	166
2. 勤労市民セミナー	167
3. 中小企業従業員講習	167
III. 就労環境整備	168
1. 労働相談	168
2. 個別就労相談	168
3. 中小企業退職金共済掛金補助金	168

4. 中小企業従業員の表彰	168
IV. 勤労者福祉	169
1. 市原市勤労会館（YOU ホール）	169
2. 勤労者団体への支援	173

## 第7章 中小企業

市原市の中小企業	175
I. 事業所の現状	176
1. 市内の事業所数	176
2. 市内の従業者数	177
II. 中小企業を対象とした事業	179
1. 中小企業資金融資制度	179
2. セーフティネット保証	184
3. 中小企業相談所の運営支援	185
4. 中小企業サポート事業	186
5. 中小企業の交流促進	188
6. 市原市ISO及び環境マネジメントシステム認証取得事業補助金	189
7. 企業立地奨励金	191
8. 中小企業退職金共済掛金補助金	192
9. 中小企業従業員表彰	194
10. 中小企業従業員講習	194
11. 市原市で大切にしたい会社認定制度	195

## 資料編

I. 農業	197
II. 工業	203
III. 観光	209

# 市原市の概要



## 市原市の概要

### 1. 概況

本市は都心から 50 km 圏内にあり、千葉県のほぼ中央に位置し、北は千葉市、東は茂原市、長柄町、長南町、南は大多喜町、君津市、西は木更津市、袖ヶ浦市の 5 市 3 町と隣接している。

市の面積は 368.17 k m<sup>2</sup> で、首都圏では有数の市域を有している。

市の中央部を養老川が縦断して東京湾に注ぎ、北部から中部にかけては平坦地が多く、中部で緩やかな丘陵となっており、南部は標高 200m から 300m の山間地帯で、地質は概ね第 4 紀層に属している。

大化の改新後には、上総国の国府がこの地におかれ、奈良時代には現在の市庁舎が

建つ国分寺台に、上総国分寺と上総国分尼寺が建立されるなど、市原市はかつて上総国の政治の中心地であった。

大正 5 年に作成された市原郡誌によれば、郡内 11,856 戸の 84% にあたる 10,024 戸が農業に従事していたと記されている。また、東京湾に面した村では海の幸を求める漁業や製塩も行われており、明治時代後半から東京湾の浅瀬を利用したのりの養殖が盛んに行われ、昭和の前半までは、典型的な第 1 次産業のまちであった。

この頃、市の中央を縦断する養老川では、内陸部で生産された米や薪などを河口まで運搬し、帰りに海産物や衣類などを運ぶ川舟による輸送が盛んに行われており、大正 14 年 3 月に開通した小湊鉄道とともに、経済の重要な流通経路となっていた。

さらに、東京湾を横断して、江戸（東京）へ農産物、海産物、薪等を輸送する手段として「五大力船」と呼ばれた帆かけ舟が活躍し、まちの経済を支えてきた時代もあった。



昭和30年代に入り、臨海部の埋め立てが始まると、電力・石油精製・石油化学の大手企業が進出して京葉コンビナート地帯が形成され、日本の高度成長とともに、農業と漁業のまちは、第2次産業、第3次産業を中心とするまちへと大きな変貌を遂げてきた。その一方で、千葉県内第6位の経営耕地面積を有し、農業産出額は県内第9位であり、水稻のほかにダイコン、スイカ、ジャガイモ、トマトなどの野菜栽培、梨、イチジクなどの果樹栽培も盛んに行われている。

また、南部の丘陵や山間地帯には多くの自然が残され、高滝ダム周辺から養老溪谷にかけては観光地となっており、年間を通して観光客が訪れているほか、ゆるやかな丘陵を利用したゴルフ場が多いのも特徴の一つとなっている。

## 2. 沿革

明治4年の廃藩置県によって、鶴牧、鶴舞、菊間の各藩がそれぞれ県になり、後に木更津県の一部となる。明治6年には市原郡として組み込まれ、明治22年の町村制の施行により、市原郡はほぼ現在の大字にあたる172町村を合併して21町村となり、戦後、全国的な市町村合併が進むなか、市原郡は、市原町、五井町、姉崎町、三和町、南総町、市津村、加茂村の5町2村となった。

その後、昭和34年から始まる臨海部のコンビナートの操業が、さらなる合併推進の大きな背景となり、昭和38年5月に市原町、五井町、姉崎町、三和町、市津町の5町が合併して、市として県下19番目となる市原市が誕生した。

さらに、昭和42年10月には、南部の南総町と加茂村の1町1村を加えて、1郡1市とする現在の市原市となり、現在の人口は280,225人、122,155世帯の首都圏有数の広域都市となっている。(平成27年4月1日現在)

## 3. 県内における市原市の市勢

表－1 県内における市原市の市勢

項 目		順位	統 計 数 値 等
面 積		1位	368.17 k m <sup>2</sup>
人 口		6位	280,225人(平成27年4月1日現在)
財政	一般会計当初予算	6位	904億9,000万円(平成27年度一般会計当初予算)
商業	年間商品販売額	7位	4,052億886万円(平成19年商業統計調査確報)
工業	製造品出荷額等	1位	4兆6,925億5,449万円(平成25年工業統計調査)
農業	経営耕地面積	6位	3,208 ha(平成22年農林業センサス)
	農業産出額	9位	120億3,000万円(平成18年生産農業所得統計)

#### 4. 市原市の土地利用

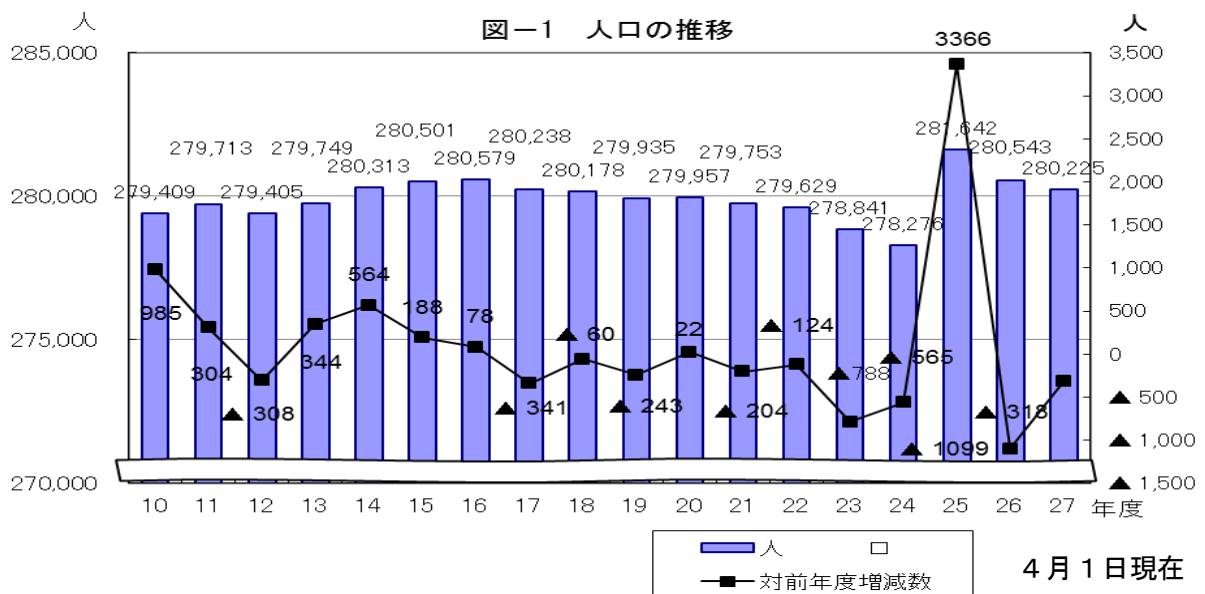
表-2 土地の地目別面積 (単位: m<sup>2</sup>)

地目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	
総数	368,200,000	368,200,000	368,200,000	368,200,000	368,200,000	
宅地	54,794,512	55,118,278	55,403,407	55,590,956	55,762,164	
内 訳	商業地区	989,249	991,067	1,232,881	1,236,116	1,225,336
	住宅地区	20,032,036	20,257,696	20,294,836	20,452,673	20,589,204
	工業地区	21,718,666	21,751,839	21,708,234	21,673,947	21,685,115
	村落地区	11,313,617	11,338,846	11,357,655	11,409,080	11,445,359
	その他	740,944	778,830	809,801	819,140	817,150
田	44,525,520	44,318,806	43,737,518	43,469,542	43,268,598	
畑	24,639,047	24,540,883	24,335,026	24,163,965	24,009,719	
山林	84,041,011	83,571,517	83,497,092	83,432,767	83,398,620	
原野	9,093,169	9,194,080	9,169,837	9,269,050	9,357,468	
池沼	204,996	251,985	257,409	258,437	258,382	
牧場	17,459	17,459	17,459	17,459	17,459	
雑種地	28,090,480	28,488,201	28,705,284	28,737,325	28,811,720	
その他	122,793,806	122,698,201	123,076,968	123,260,499	123,315,870	

(注) 各年度とも1月1日現在の数値である。

平成26年版市原市統計書

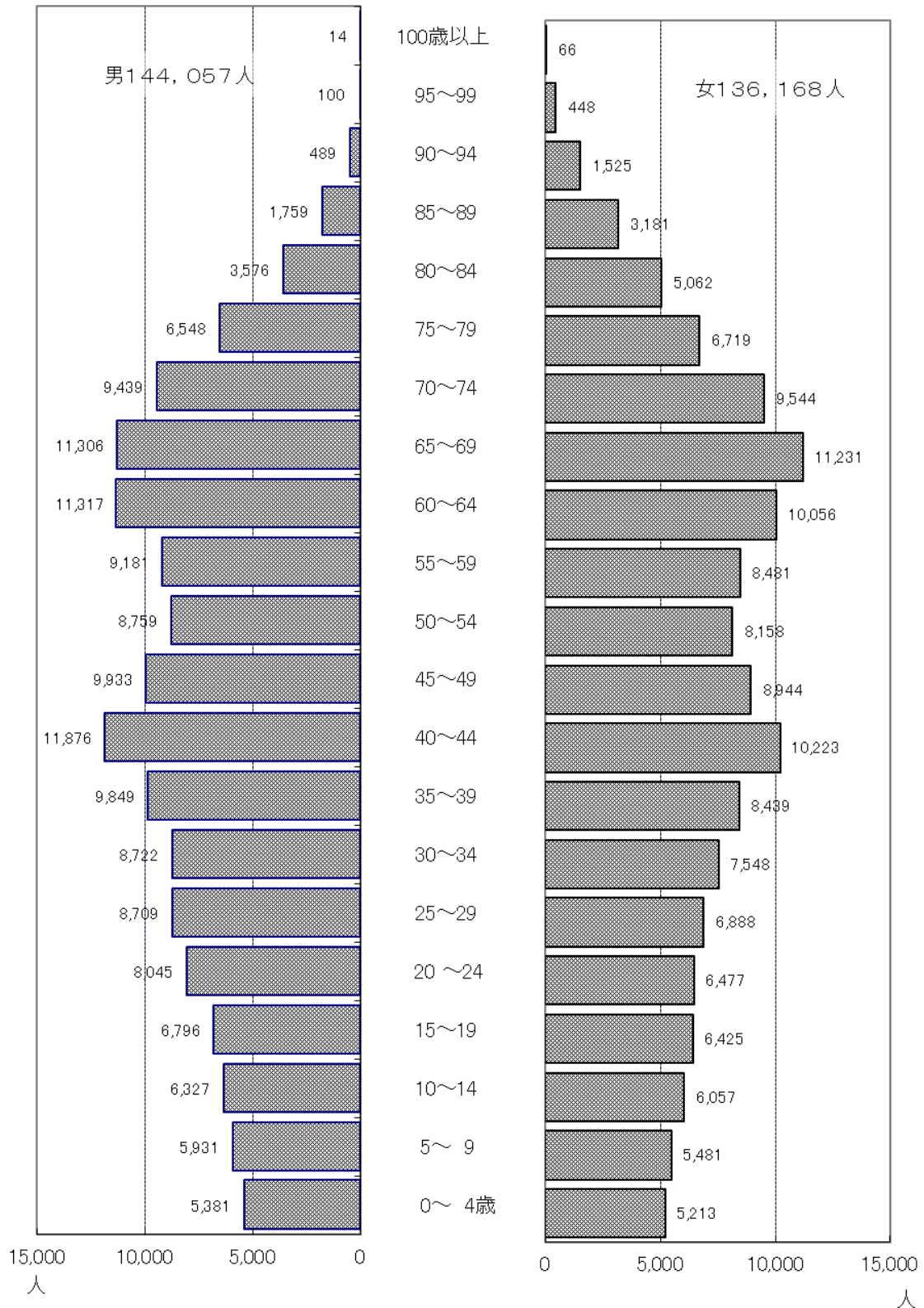
#### 5. 市原市の人口



図一 2 年齢別男女別人口

(平成27年4月1日現在)

【総数280,225人】

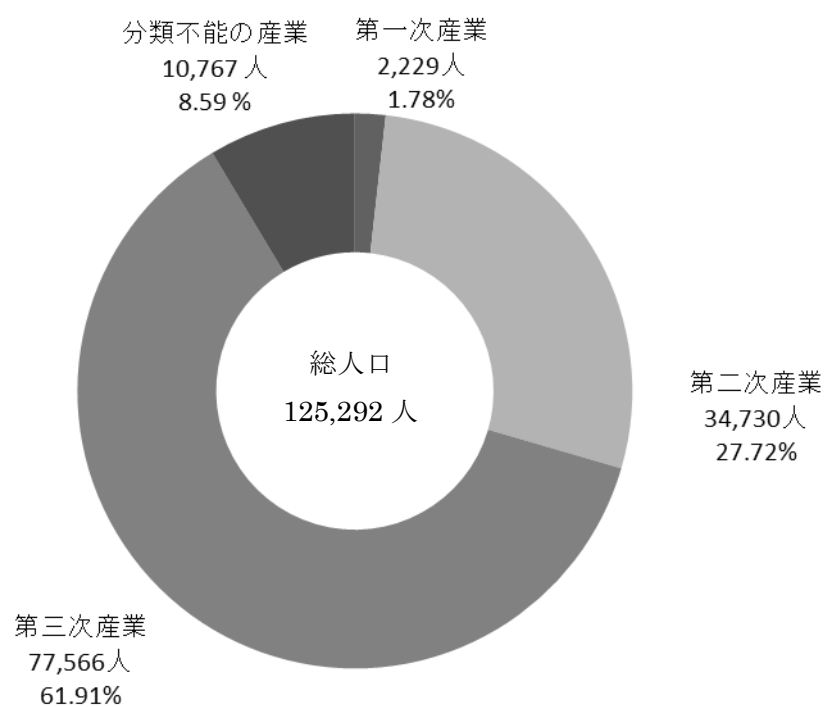


## 6. 産業別就業人口

表-3 産業別就業人口

年 次		平成 17 年国勢調査		平成 22 年国勢調査			
産 業 別		総 数 (人)	構成比 (%)	総 数 (人)	構成比 (%)	男 (人)	女 (人)
第一次産業	農業	3,461	2.58	2,195	1.64	1,347	848
	林業	10	0.01	23	0.02	20	3
	漁業	7	0.01	11	0.01	11	0
	計	3,478	2.59	2,229	1.66	1,378	851
第二次産業	鉱業	43	0.03	35	0.03	32	3
	建設業	16,813	12.53	12,765	9.52	10,943	1,822
	製造業	25,415	18.95	21,930	16.35	18,262	3,668
	計	42,271	31.51	34,730	25.89	29,237	5,493
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	943	0.70	890	0.66	770	120
	情報通信業	2,591	1.93	2,180	1.63	1,597	583
	運輸業	8,983	6.70	8,423	6.28	6,952	1,471
	卸売・小売業	20,558	15.33	17,854	13.31	8,052	9,802
	金融・保険業	2,600	1.94	2,332	1.74	970	1,362
	不動産業	1,561	1.16	2,115	1.58	1,328	787
	飲食店・宿泊業	6,264	4.67	6,481	4.83	2,094	4,387
	医療・福祉	9,546	7.12	10,553	7.87	2,217	8,336
	教育・学習支援	4,609	3.44	4,371	3.26	1,752	2,619
	複合サービス事業	1,178	0.88	539	0.40	286	253
	サービス業	21,479	16.01	18,570	13.84	11,109	7,461
	公務	3,635	2.71	3,258	2.43	2,521	737
	計	83,947	62.59	77,566	57.83	39,648	37,918
分類不能の産業		4,434	3.31	10,767	8.03	6,296	4,471
総 数		134,130	100.00	125,292	93.41	76,559	48,733

図一 3 産業別人口(平成 22 年国勢調査)



図一 4 産業別人口詳細(平成 22 年国勢調査)

